

## 2019（平成31）年度 学力向上プラン

### 1 今年度の学力向上に向けた取組計画

【※昨年度の成果と課題を踏まえた今年度の取組】

#### (1) 学力向上推進の重点

- 1 主体的・対話的で深い学びを促す授業改善  
(個の学習を支える指導と言語活動を通じた学び合いの指導を通じた授業改善)
- 2 基礎・基本定着の徹底と自ら学ぶ意欲を喚起する学習指導  
(各教科等での指導工夫改善の具体的検証)
- 3 学力向上に向けた取組の改善  
(各種調査テストの検証、TT、習熟度、放課後学習、学習室の活用、長期休業中の学習会、チャレンジテスト等の活用等々)
- 4 個に応じた学習課題の把握と家庭学習の改善・充実  
(家庭学習指導の工夫と生活リズムチェックシートの活用)
- 5 学ぶ姿勢と落ち着いた環境をつくる学習規律の確立と定着  
(小中連携した大楽毛中ルールの定着)
- 6 教育のプロとして相互の力を高める研修の推進  
(新学習指導要領を意識した授業づくりと、積極的な研修への参加)

#### (2) 学力調査における下位層の力を伸ばすための学校全体での具体的な取組

- 1 「継続してやらせる」～学習習慣を確実に身につけさせる取組の充実
  - (1) 「学習会」の計画・実施・・・「学習室」の活用
    - ① 放課後学習会
      - 【目的】・学習の習慣をつける
        - ・宿題や家庭学習等でわからないところを質問できる場
        - ・進路を見据え、落ち着いて学習ができる場
      - 【日程】・基本的には会議や委員会等がない放課後（15：45～16：30）
      - 【内容】・学力向上推進部から1名及び時間講師、高専の学生ボランティアが担当する
        - ・自学自習方式（宿題、ワーク、問題集等は自分で用意）
    - (2) 家庭学習の意義を日常継続的な指導により理解させ、適切な評価を行うことで家庭学習の習慣化を図る（提出率を提示し学級100%を目指す）
      - ① 現状の実態把握と家庭学習の指導や支援する方法の検討
    - (3) 宿題の工夫
      - ① 授業との関連づけ、予習⇒授業⇒復習のサイクルの確立
      - ② 教科間連携をとり、バランスのとれた生徒にとって過度な負担にならない宿題の提示
    - (4) モーニングテストの実施
      - ① 事前に出題範囲を提示し、計画的に取り組みせることによって学習習慣の確立をめざす
      - ② 達成率を掲示することにより、集団での学習意欲の向上をめざす
    - (5) 教育相談の実施
      - ① 自主的な教育相談の呼びかけとともに、必要に応じて呼び出し相談の実施
  - 2 「自ら学ぶ」～学習意欲の向上を図る授業改善の取組
    - (1) 「学ぶこと」の楽しさを実感できる授業づくり
      - ① 校内研修の充実
      - ② 積極的な授業交流により授業の質の高め合い

**(3) 学力調査における中位・上位層の力を伸ばすための学校全体での具体的な取組**

- 1 学校で学習した内容を補充・深化・発展させる学習の奨励
  - (1) 放課後学習会の充実
 

学校での学習内容をさらに補充・深化できるよう、プリント等を活用した学習の場を提供するとともに、担当教員等による指導を合わせて実施する
  - (2) 家庭学習の質的向上
 

家庭学習ノートの提出に対する教師による的確な助言等により、学習意欲の喚起とともに学習内容の質的な向上を図る
  - (3) 進路を見据えた教育相談の充実
 

キャリア教育の視点から、将来を見通した進路指導の充実を通して学ぶ意義を醸成し、学習意欲の喚起を図る
- 2 少人数加配・学習支援加配教員の活用
  - (1) 少人数指導の充実により、学習意欲の喚起とともにさらなる学力の向上を図る。
- 3 主体的・対話的で深い学びをめざす授業
  - (1) 校内研修の充実を通して、深い学びの実現を図る

**(4) 取組計画 <ア-1 学校改善プラン>**

【※「釧路市学校改善プラン」における具体的な3つの視点に基づく年間計画】

	取 組 内 容
<p><b>&lt;視点1&gt; 授業づくり</b></p>	<p>～指導方法等の工夫改善～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 「学ぶ時間」の質と量の確保を主眼に置いた教育課程の編成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新学習指導要領の趣旨を生かす質的・量的にも適正な教育課程の管理</li> <li>○ 授業時数・授業進度の定期的な確認と管理</li> <li>○ 各教科等年間指導計画の実証と検証</li> </ul> </li> <li>2 「学びの質」を保障する学習過程の工夫                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元及び各時間の学習の導入時に見通しが持てる明確な課題の提示</li> <li>○ 単元及び学期毎に「まとめ」の時間を確保し弱点を克服する</li> <li>○ 各時間の週末段階における、個に応じた補充・発展的指導</li> </ul> </li> <li>3 「学びの質」の充実を図る授業改善                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくり</li> <li>○ 協働体的な学びを支える学習へ向かう雰囲気づくり</li> <li>○ 教師どうしの積極的な授業交流により、個の学習を支える指導方法や内容の工夫を中心とした研修の推進</li> <li>○ 授業の中での思考場面や自らの言葉で振り返る等の場の設定</li> </ul> </li> <li>4 習熟度別少人数指導やTT、補充指導や個別指導など、一人一人のニーズに応じた多様な指導方法の工夫を図る</li> <li>5 小中教員による実践交流、相互訪問等を通して、児童・生徒の実態を把握し、9年間を見通した連続的な学びに結びつけるよう授業改善に努める</li> </ul>

<p><b>〈視点2〉 環境づくり</b></p>	<p>～授業以外の学習の機会や時間の充実～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各種調査の分析と活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力・学習状況調査や標準学力調査（CRT）による実態把握と、その結果分析を通して課題の共有化を図り、解決に向けた授業改善の取組</li> </ul> </li> <li>2 学習内容を補充・深化するための学習機会の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習室」を活用した放課後学習会の実施</li> <li>○ 高専の学習支援ボランティア等地域の人材を活用した放課後学習会の実施</li> <li>○ 長期休業中における全学年一斉の学習会の実施（部活と重ならないよう）</li> <li>○ モーニングテストのさらなる充実</li> </ul> </li> <li>3 チャレンジテスト等の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放課後学習や長期休業中の学習サポート、または家庭学習等に有効活用</li> </ul> </li> <li>4 「学びの意義」を意識し、理解させる日常継続的な指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科間で連携を取り合い、生徒に過度な負担とならない宿題の提示</li> <li>○ 学習規律に対する教職員の共通理解をもとにした指導の徹底</li> <li>○ 落ち着いた雰囲気の中で学習に向かわせる環境の整備</li> <li>○ 学び（特に学習習慣）の連続を図るための小中連携の推進</li> </ul> </li> <li>5 学びに向かう校内・教室内の環境整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校での学びを広げる掲示の工夫</li> <li>○ 学習を意識させる宿題確認用「ホワイトボード」の活用</li> </ul> </li> <li>6 学びに困っている生徒への支援体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 困り感を抱いている生徒に対する教育相談の充実</li> </ul> </li> </ol>
<p><b>〈視点3〉 習慣づくり</b></p>	<p>～自ら学習する習慣、望ましい生活リズムの確立～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒会活動・学級の係活動を活用した家庭学習提出システムの確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、目標時間を目安とした継続的な家庭学習の習慣づくり</li> <li>○ 家庭学習の質の向上をめざし、効果的なノートの使い方等の指導</li> </ul> </li> <li>2 生活リズムチェックシートの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習時間や睡眠時間等、個や学級の実態把握と学力との関連分析</li> <li>○ 学級への還元や家庭との連携等での有効活用</li> </ul> </li> <li>3 保護者・地域等との連携・強化を図るための積極的な情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的な通信の発行と学校HPの更新</li> <li>○ 各種研修会、学級・学年懇談会等を活用した家庭への意識啓発の場の設定</li> </ul> </li> </ol>

**（5）今年度の学力向上推進の重点を踏まえた各学年の目標と具体的な取組<イ-1 各学年>**

	【 国 語 】	【 算 数 ・ 数 学 】
<p><b>1 学年</b></p>	<p><b>【目標】</b>  ・標準学力検査等での無答率を下げる。  ・説明文や文学作品を読み取る力の育成を図るとともに、国語科の学習に対する興味、関心を高める。</p> <p><b>【取組】</b>  ・説明文や物語、文学作品などを読み取ることに課題がみられるので、根拠を明確にして自分の考えを記述する機会を授業で多く設ける。  ・家庭学習やモーニングテスト、授業での漢字テストを通して既習漢字の定着を図る。</p>	<p><b>【目標】</b>  ・小学校で学習した内容の技能及び知識の確実な定着を図る。  ・下位層の生徒の基本的な技能、知識の定着を図る。</p> <p><b>【取組】</b>  ・家庭学習やモーニングテストの活用を図ることで、基本的な技能や知識の定着を図る。  ・授業での学習規律の定着を意識し指導していき、主体的に取り組む時間、思考する時間を大切にする。  ・授業時間に取り組む練習問題の数を増やすよう、授業改善に努める。</p>

<p><b>2 学年</b></p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力検査等での無答率を下げる。</li> <li>・「話の内容を聞き取る」「説明文の内容を読み取る」「資料をもとに話し合う」ことに対する苦手意識の克服をめざし、国語科の学習に対する興味、関心を高める。</li> </ul> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話し合いの内容を聞き取る」「話し合いの内容を理解する」ことで、読み取りの能力を上げる機会を増やす。</li> <li>・「書くこと」を授業に多く取り入れ、苦手意識を克服する。</li> <li>・家庭学習やモーニングテスト、授業での漢字テストを通して既習漢字の定着を図る。</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下位層の生徒の基本的な技能、知識の定着を図る。</li> <li>・「数学的な見方、考え方」や思考力、判断力の伸長を図る。</li> </ul> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決的な授業の研修を通して、数学的な技能や知識を活用した問題の提示や、思考力・判断力を伸ばすための授業の構築を図る。</li> <li>・家庭学習の仕方、テストの活用の指導を通して、基本的な技能や知識のさらなる定着を図る。</li> <li>・放課後学習等を活用し、特に下位層を対象とした講習会を実施することで、基礎的な学習内容の定着を図る。</li> </ul>
<p><b>3 学年</b></p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力検査等での無答率を下げる。</li> <li>・「書く能力」「言語に対する知識・理解・技能」の伸長を図るとともに、国語科の学習に対する興味、関心を高める。</li> </ul> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を決めた中で、文章を読み取って問題に取り組む機会を多く設ける。</li> <li>・問題の意味を理解させ、意識して課題に取り組ませる。</li> <li>・「書くこと」を授業に多く取り入れ、苦手意識を克服する。</li> <li>・家庭学習やモーニングテスト、授業での漢字テストを通して既習漢字の定着を図る。</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な技能や知識の確実な定着を図る。</li> <li>・標準学力検査等で、下位層の割合を減らし、正答率を上昇させる。</li> </ul> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な技能や知識を身につけるための課題（宿題）を継続的に出す。</li> <li>・家庭学習やモーニングテストの活用を図ることで、基本的な技能や知識のさらなる定着を図る。</li> <li>・問題に具体的な事象を取り入れ、グラフや関係式から情報を分類整理し、表現する場面を多くつくる。</li> </ul>